

2024年4月25日

平和新聞(1950年12月16日 第三種郵便物認可)号外

青森県平和委員会版

〒030-0852
青森市大野若宮 165-19
電話 017-762-1592
Fax 017-762-1593

号外



1カ月470円(郵送料月額126円)

発行 日本平和委員会
〒105-0014
東京都港区芝 1-4-9 平和会館
電話 03-3451-6377
FAX 03-3451-6277

私たちは平和を築くことを目的に、共に学び行動する団体です

(C) 青森県平和委員会

青森県平和委員会は日本平和委員会規約第10条に規定される、都道府県委員会です。

日本平和委員会は、北海道から沖縄まで全国47都道府県で、草の根から平和を創るために活動しているNGO(非政府組織)です。地域や職場、学園にいる3人以上の会員で作る基礎組織が全国に約500あり、約1万8000人の会員がいます。

当会は、「思想・信条・政派の違いをこえて、規約に賛同する個人をもって構成される個人加盟の団体」(規約第4条)です。1人ひとりの自発的な思いこそ、平和を守り、つくる力の土台だと考えています。

「平和について学びたい」「平和のために何かしたい」という一人ひとりの思いを出発点に、学習会やフィールドワーク、署名や企画・パフォーマンスなど、話し合いながら多彩な活動をすすめています。

また、他の労働組合や民主団体などと協力し、毎年、原水爆禁止世界大会(夏)や日本平和大会(秋)といった全国規模の平和イベントも開催しています。

さらに、外国軍事基地撤去国際ネットワークへの参加、外国の平和運動・基地反対運動と交流するスタディツアーを独自に企画するなど、世界の人々と手をつなぐ活動も行っています。

-日本平和委員会 WEB サイトより転記-

◆三沢米軍基地の消火訓練で有害物質の消火剤が基地外に流出

在日米軍基地から発がん性の疑いがある有機フッ素化合物(PFAS)の流出が社会問題になっています。

2023年1月、米軍横田基地内での消火訓練に使用された消火剤が流出、今年になり立川市・国分寺市・小金井市の井戸や遊水地・浄水所から高濃度のPFASが発見されました。基地周辺の住民650人の検査結果、基地の東側の住民から高濃度のPFASが発見され大問題になっています。

国と県、三沢市は定期的に水質調査をしていますが、2022年1月に三沢米軍基地から「有機フッ素化合物」を含む消化用水が流出したことが明らかになりました。米軍や県・三沢市の10月の調査では国の暫定値の2倍の濃度の有害物質が検出されています。

県平和委員会は昨年11月10日、三沢平和委員会のNさんのガイドで、汚染されている基地

に隣接しているため池や姉沼、小川原湖を実地調査しました。

天狗森のため池の隣の姉沼は冬の風物詩となっているワカサギ釣りで有名なので、汚染されると甚大な被害を受けることとなります。在日米軍は、日本の立ち入り調査の拒否しているため実態の把握は困難となっています。



基地の下にある天狗森のため池を調査